

2022-2023年度国際ロータリーのテーマ



2022-2023年度国際ロータリー第2690地区のスローガン
ロータリーの素晴らしさを体感しよう!

2022-2023年度岡山北ロータリークラブのスローガン

新たな道

2022～2023年度 Rotary Club of Okayama North

Rotary 週報

国際ロータリー第2690地区第10グループ
岡山北ロータリークラブ

事務所 / 〒700-0902 岡山市北区錦町1-8 岡山県木材会館4F
TEL.(086) 222-9590・222-0384 FAX.(086) 224-4288
E-mail : okayamakita@ok6rc.jp
http://okayama-kita-rc.jp/

例会場 / 岡山市北区駅元町1-5 ホテルグランヴィア岡山
例会日 / 毎火曜日 12:30～13:30

理事・役員

2022.7～2023.6

会長(理事) 廣 野 景 治
副会長(理事) 木 山 英 也
幹事(理事) 中 山 賢 太
副幹事 杉 山 本 和
会 計 山 本 秀
S.A.A.(理事) 牧 宮 郎
副S.A.A. 宏

会員増強・退会防止(理事) 高 畠 浩
広報(理事) 永 山 雅
奉仕プロジェクト(理事) 馬 場 幸
ロータリー財団(理事) 谷 本 幸
親睦活動 高 橋 茂
プログラム 杉 山 康
直前会長 岸 本 達
次期会長 本 成

モバイルサイトへのアクセスは
QRコードをご利用ください。
(岡山北RCホームページ)



きょうのプログラム

「クラブフォーラム」

会員増強・退会防止常任委員会

常任委員長 高 畠 浩 会員

次回11月8日のプログラム

「会場移動夜間例会」

11月のお祝い行事

会員誕生日：中山、高取君

結婚記念日：川本、鴻上、宮武、永山、大塚、坪井君

前回10月18日の例会記録

出席の状況

会 員 数 50名(出席免除者0名)

出席者数 32名

欠席者数 18名

出席率 64.00%

ゲスト

国際ロータリー第2690地区

地区ガバナー 友 末 誠 夫 様

ガバナー随行者 日 笠 晴 夫 様

ガバナー随行者 日 笠 真由美 様



RIロゴのバナー授与

スケジュール

11月 ロータリー財団月間

1日(火) 例会取消し(定款第7条第1節)

8日(火) 18:00～第5回理事役員会

19:00～会場移動夜間例会

15日(火) 12:30～例会：クラブフォーラム(R財団)

20日(日) 家族 収穫祭

22日(火) 19:00～会場移動夜間例会(8月9日延期分)

29日(火) 12:30～例会：石井聖至様(岡山青年会議所)

12月 疾病予防と治療月間

6日(火) 12:30～例会：クラブ年次総会

13:40～第6回理事役員会

13日(火) 12:30～例会

20日(火) 例会変更→25日

25日(日) 19:00～クリスマス家族夜間例会

27日(火) 例会取消し(定款第7条第1節)

本日のメニュー：和食

次回のメニュー：夜間例会特別メニュー

会長挨拶



本日は友末ガバナー様をお迎えしての例会。日笠晴夫地区副代表幹事様、日笠真由美様、ご来訪、心より歓迎申し上げます。この日を楽しみにしておりました。

今年の、1月30日にオンラインでIMを開催した折りに、初めてお目にかかせていただきました。14才の時に卵を洗う機械を発明されて、海外でも研究を重ねられ、経営者としても素晴らしい手腕を発揮されており、そして、私は勝手ながら、何よりも温厚な人柄に魅力を感じております。

本日は、例会前の会長幹事会でいろいろなお話をうかがいました。また、先日の地区大会では大変お世話になり、その様子を本日の週報に掲載させていただきました。

そして、皆様方に報告です。この日曜日16日に、ポリオ根絶イベントとして、県南16RCが協力しての合同事業に皆木副会長、米林委員長と参加してまいりました。ファジアーノ岡山の応援も兼ねており、試合は残念な結果となりましたが、多くの人が集まる機会にポリオの募金活動を行うということで、インターアクトの学生も多く参加協力していました。もちろん私たちもクラブとしても募金に協力してまいりました。

岡山RCさんと16クラブの幹事会が中心となつての開催で、初めて県南16クラブの合同事業を経験しました。他クラブの方との交流もできて意義ある事業でした。

もう一点報告いたします。先日の理事会で永山会員が次期幹事として承認されました。12月の総会で正式に承認となりますが、次年度の組織作りに向けて準備を進められますので、どうぞ皆様のご協力をよろしくお願いいたしまして、会長挨拶とします。

幹事報告

1. 10月16日（日）世界ポリオデー県南16RC合同イベントに参加をされた皆様お疲れさまでした。
2. 地区大会における「エンドポリオ サイクルプロジェクト」募金の御礼状が届いておりますので回覧いたします。
3. ハイライトよねやま Vol.271、第14回全国RYLA^{ライラ}研究会報告書並びに決算書、ももぞの学園作家展のご案内、他クラブ週報を回覧いたします。



出席報告

S. A. A.

廣野君：友末ガバナー様、日笠晴夫地区副代表幹事様、日笠真由美様のご来訪を歓迎申し上げます。楽しみにしておりました。

16日、ポリオ根絶イベントとして、県南16RCの合同事業に参加し、クラブとしても募金に協力してまいりました。暑い中、皆木副会長、米林委員長、ご協力ありがとうございました。

皆木君：ガバナー友末誠夫様、日笠晴夫様、日笠真由美様のご来訪を歓迎します。友末ガバナー様の卓話、楽しみにしています。

中山君：友末ガバナー様、日笠晴夫ガバナー随行者様、日笠真由美ガバナー随行者様のご来訪感謝いたします。

本日、よろしくお願い致します。

杉山君：ガバナー友末誠夫様、随行者日笠晴夫様、日笠真由美様のご来訪、心より感謝申し上げます。

杉本君：友末ガバナー様、日笠晴夫様日笠真由美様のご来訪、感謝いたします。

岸本君：友末ガバナー 随行者の日笠晴夫様 日笠真由美様のご来訪に感謝いたします。

永山君：次年度 幹事...頑張ります。皆様 ご指導ご鞭撻、ご支援よろしくお願い致します。

伊藤君：友末誠夫ガバナー公式訪問感謝します。

日笠晴夫、日笠真由美 ガバナー随行者のご訪問感謝します。

宮井君：友末ガバナー様、日笠地区副代表幹事様、日笠真由美様、ご訪問感謝いたします。

牧本君：友末ガバナー様、日笠晴夫地区副代表幹事様、日笠真由美様のご来訪、感謝いたします。



スマイル



仲良しです

ガバナー公式訪問例会



国際ロータリー第2690地区

地区ガバナー 友末 誠 夫 様

2022年10月18日（火）12:30よりホテルグランヴィア岡山にて、友末誠夫ガバナー、並びにガバナー随行者日笠晴夫地区副代表幹事様と日笠真由美様をお迎えしての公式訪問例会を開催しました。

友末ガバナーより、冒頭に現在のポリオの発症事例があるパキスタンとアフガニстанを1970年代にご自身がお仕事で訪問したときの衛生面の悪さなどのお話をいただきました。

そして、ジェニファー・ジョーンズRI会長の世界テーマについては、特にIMAGINEのロゴに込められた思いと新しいロータリー活動を創出することの大切さ、そのためには「D・E・I多様性（Diversity）・平等性（Equity）・包括性（Inclusion）」をもって取り組んで欲しいとのお話し。

また、例会前の会長・幹事懇談会では、中山幹事、次年度岸本会長・永山幹事も同席し、他クラブにはない取り組みがあればとのことで、当クラブが創立20周年記念事業として始めた岡山市内の高等学校の経済的に修学困難な生徒に対し奨学金を支給する「岡山北ロータリークラブ奨学金制度」について紹介したところ、ガバナーはご自身が奨学金で海外留学をされていたこともあり、長年継続していることに賛辞をいただきました。

引き続き、当クラブの活動の紹介や次年度に創立55周年を迎える準備の年としての取り組みを報告させていただいたところ、友末ガバナーより、他クラブの奉仕事業の事例やご自身の留学時代に会った「四つのテスト」の大切さ、そして「新たなロータリー活動、奉仕事業の創造」に向けてのアドバイスをいただきました。



会長・幹事懇談会



日笠地区副代表幹事より地区大会の報告をいただきました



訪問の皆様と

IMAGINE ROTARYのロゴに込められた意味：先住民の文化で「円」は互いにつながっていることを意味しており、7つの点は「人」をあらわすと同時に、ロータリーの七つの重点分野を表しています。丸と点を一緒にすると、航路を示す星、つまり私たちの道しるべになります。その下の太い線は、いわゆる「握り出し棒」で、力仕事をするときに使うものです。行動を起こす人たちであるロータリー会員にとって、物事を成し遂げるための道具を表しています。



①



②

公 式 訪 問
基調講演

第2690地区ガバナー

友末誠夫

所属 津山RC

2022-23年度RI会長
ジェニファー ジョーンズ

プロフィール
カナダ・オンタリオ州
ウィンザー在住
Media Street Productions Inc.
創業者兼社長（ニュースプロバイダー）
1997年ロータリー入会
副会長・理事・地区ガバナー歴任
超我の奉仕賞受賞
ロータリー財団功労表彰



2022-23年度
RI会長世界テーマについて

2022-23年度 RI会長
ジェニファー ジョーンズ
IMAGINE ROTARY



**IMAGINE
ROTARY**

2022-23年度会長テーマ
「イマジン ロータリー」とは、

100年以上の歴史に培われたロータリーを振り起こして、次の100年のロータリーを築く礎となる様、新しいロータリー活動を創出することです。

その創出には、新しいロータリーの意識概念、
多様性 (Diversity)、平等性 (Equity)、包括性 (Inclusion) = D・E・I
をもって取り組んでください。

私達には夢があります。
夢を実現するのは私たちです。

**イマジンロータリーは、只単に想像を
巡らすのではなく、
ロータリーを未来に繋ぐために
新しい活動を創造することです。**

2022-23年度 2690地区
運営の方向性

2022-23年度 地区スローガン

**ロータリーの素晴らしさを
体感しよう！**

D・E・Iに配慮したクラブ運営とは？

「多様化の今日、ロータリーの運営においても同様です。
特に日本においては女性会員を増やすこと、若い会員数を
増やすことで、ロータリーの多様化を進める事が出来、
ロータリーを未来へと繋げることが出来るのです。

(国際ロータリー理事：佐藤芳郎インターシティミーティングの講演：参考)

ロータリーでしか味わえない奉仕活動こそ、楽し
さが体感出来、その素晴らしさに気づき、4つのテ
ストに代表されるロータリーの精神性は活動を通
じて、新しいロータリーへと進化します。

“真実かどうか”
“みんなに公平か”
“好意と友情を深めるか”
“みんなのためになるかどうか”
ロータリーの4つのテストは、
私達の絆を未来へ結ぶ羅針盤なのです。

⑬

2022-23年度第2690地区 最重点目標

クラブ役員そして会員としての努めです！

⑭

1 会員の増強

- ・女性会員増強に努める
- ・各クラブ毎年増員1名以上

(実績：2019-2020年度△0.52人
2020-2021年度△1.14人)

⑮

2022-23年度第2690地区 重点目標

⑯

2 マイロータリーの登録率80%以下の クラブは、10%アップを目指す

3 ポリオ根絶への協力

- ・ポリオプラスへの寄付：US\$40/人

⑰

4 ロータリー財団への支援

- ・年次基金への寄付：US\$170/人

5 米山記念奨学会への支援

- ・普通寄付：5,000円/人 特別寄付10,000円/人

⑱

6 地区補助金・グローバル補助金の活用

- ・地区補助金事業：各クラブ最低1つ以上の
企画・申請・実施に励んでください。
- ・グローバル補助金事業：企画の実施にも励んでください。

7 ロータリーカードの利用推進

(法人カードも含めて)

※ロータリーカードの使用はポリオプラスに貢献
利用金額の0.3%が自動的に寄付されます。

⑲

8 地域社会に密着した特色ある奉仕活動の 実施

- ・新たな奉仕活動の実施
- ・形骸化した奉仕活動の見直し

9 2023年国際大会への参加

- ・メルボルン（オーストラリア）（2023年5月27日～31日）
- ・地区全体10名以上

⑳

ロータリーの公共イメージ向上を進め、地域に於けるロータリーの認識性を高めます。

地域社会が認めるロータリーの奉仕活動を実施し、ロータリーの存在性を高めましょう！

公園の清掃活動の様子



㉑

2022-23年度 重点目標

地域社会に密着した特色ある奉仕活動を実施

津山ロボコンに集う小学生、中学生、高校生、ロータリー活動の一つの催しです！



㉒

「世界POLIO-DAY」 参加のお願い

「世界POLIO-DAY 毎年10月24日」に向けて、各クラブでのポリオ根絶推進イベントを実施してください。
そして、10月24日を念頭に、都合のつく日に開催してください。

**END
POLIO
NOW**

23

各クラブは「世界POLIO-DAY」のイベントを開催しましょう

「あと少し」となっているポリオ根絶活動の協賛に理解を求めましょう。
これもロータリーの公共イメージ向上の有効な催しです。



24

「世界POLIO-DAY」の事例 ポリオ撲滅募金活動 神社祈願祭



25

活動報告

県南16ロータリークラブ 2022年世界ポリオデー合同イベント

10月16日（日）県南16ロータリークラブの会員及びご家族でファジアーノ岡山2022年度ホーム最終戦観戦を兼ね、入場料の一部をポリオプラスに寄付する事業に皆木副会長、米林委員長と参加してまいりました。特設ブースを設営し、ポリオプラスの活動を紹介するパネル展示とインターアクトクラブ、ローターアクトクラブとも共同して募金活動を行い、クラブとしても特別会計からの拠出金で募金に協力してまいりました。

このように他クラブと連携しての活動が今後も開催できれば良いのではと感じました。

